

令和7年度 第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 令和8年3月18日（水）午後1時30分～

【会 場】 磐田市クリーンセンター 2階研修室

【出席者】 会 長 吉野 博行
副会長 松本 サチヨ
委 員 鈴木 節子 清水 勇
山本 享祐 伊藤 慎弥
永井 新次 鎌田 俊己
三好 明 鈴木 瑠璃子
厚海 鍊太郎

順不同（11名出席）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課ごみ減量推進G長、
審議会担当職員2名

【会議概要】

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - （1）令和7年度の取組み状況について
 - （2）令和8年度の主な取組み(案)について
 - （3）令和8年度磐田市一般廃棄物処理実施計画(案)について
 - （4）その他報告事項
4. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

事務局 皆様こんにちは。磐田市ごみ対策課長の寺田でございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は当市のごみ減量施策の推進にご理解、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。それではただいまより、令和7年度第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。初めに、環境水道部長より挨拶を申し上げます。

2. 環境水道部長挨拶

環境水道部長 皆様こんにちは。環境水道部長の西山です。早いもので委員の皆様をお願いして2年がもう経とうとしております。今回の審議会が最終ということになります。2年にわたり、当審議会でのご出席、そして、貴重なご意見をいただきまして厚く御礼申し上げます。本市においては、令和8年4月からプラスチックの一括回収を開始し、それから資源循環をさらに推進させたいという思いから、課の名称、今はごみ対策課ですが、令和8年の4月からごみ資源循環課と名称変更いたします。今後も皆様のご意見をごみの減量、そして資源循環に繋がっていきたく思いますので、本日も忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

事務局 本日は、委員の半数以上が出席しております。審議会の進行につきましては、条例施行規則第25条第1項により会長が議長となりますので、以後の議事進行につきましては吉野会長、よろしくお願いいたします。

会長 それでは次第に従いまして議事を進めてまいります。本日もご審議いただきありがとうございます。資料が結構ありますので、段取り良く進めていきたく思います。よろしくお願いいたします。概ね3時終了という形をとりますので、ご意見よろしくお願いいたします。それでは、次第の(1)(2)(3)を事務局から一括して説明をお願いします。

3. 議事

- 事務局 (1) ～ (3) を一括して説明
- 会長 ありがとうございます。ご意見ご質問等を伺います。挙手制でお願いします。既に質問を提出されたものや、本日の説明を聞いたものでも構いませんのでお願いいたします。
- 委員 2点ほど質問します。可燃ごみ組成調査として内容物調査をするということで、市内2ヶ所で実施するということですが、もう少し具体的に説明してほしいというのが1点目です。2点目は、プラスチックの一括回収によるごみ出しの変更に伴い、外国人向けの動画を作ることについて、外国籍の方に一緒に入ってもらい作り込んだ方がいいのではないかと思いますので、この2点を質問させていただきます。
- 事務局 1点目の組成調査は、3年に一度の調査で、生ごみ、紙類、布類、プラスチック、草木、その他という大項目でさらに19項目の分類に分けて、生ごみのうち丸ごと残っている食品残渣や50%以上残っている食品残渣、資源にできる紙類等何がどれだけ入っているか調査しています。前回令和5年に生ごみが30%、紙類が42%で7割を占めている結果から、この2つに注力して、生ごみコンポスト補助金利用者へのアンケート実施やダンボールコンポスト講座の実施、紙類削減の取り組みとして、雑がみのスタンプラリー、イベントでの雑がみ袋を使っの啓発事業などに力を入れております。2点目の外国人の方の協力ですが、現在外国人窓口の方に、手伝っていただいておりますので、令和8年度の取り組みに関しましても同様をお願いしていきたいと考えております。
- 委員 燃えるごみの中に生ごみと紙類が多いため減らしたいということでしょうか？
- 事務局 生ごみと紙類が非常に多いためそれを減らす施策を講じるための基礎的なデータを取る調査です。

委員 食品ロスの3010運動について、すぐに効果が出るものなのか分からないと思いますが、啓発前と後で効果があるという結果が出たのですか。

事務局 啓発を始めたばかりのため効果の測定までには至っていませんが、今後方法も含めて、皆さんからアイデアを頂戴して、進めていきたいと思えます。

委員 2年前と比較して、市の取組みが非常に増えたという印象を受けました。それが市民の意識啓発にも繋がっていると感じています。今まではごみの減量化を意識されてきたと思いますが、これからは次のステップとしてごみの資源化に目を向けられると思うので、課名変更もすごくいいなという風に個人的に思えます。市民もそういう意識でマインドチェンジが出来たらと思えます。令和8年度以降は減量化よりも資源化の取組みに力を入れていくのがよいと思えます。例えば紙のリサイクルもリサイクルできる紙とできない紙の知識を市民に提供していただけるとありがたいです。

委員 同じことを続けていてもごみは減らないので取組みを増やして効果を出そうとしてきたという経緯があります。今後は資源循環に力を入れていきますが、リデュース・リユース・リサイクルの中でもリユース・リサイクルを念頭に置いて取り組んでいきたいと思えます。

委員 収集計画の数字の表記及び注釈について、より正確に示したほうがいいのではということで、修正していただきありがとうございました。

事務局 ご意見に基づき、表記をよりわかりやすく注釈も加えさせていただきました。数字の部分はなかなか難しいとは思いますが、注釈と参考資料で少しでもイメージができればいいと思えます。

委員 来年度の親子SDGsの体験講座に関する提案です。食べ残しをしないということは、イコールSDGsに貢献しているとい

うことを呼びかけ、食品ロスをなくしていけば生ごみが減り、温室効果ガスも減り、地球温暖化対策にも繋がるということを講座の中で分かりやすく説明してくれるといいと思います。

事務局 食べ残しをしないイコールSDGsに貢献していることを分かりやすく伝えていけるような講座になるようにしていきたいと考えます。誰もが今日から始められるSDGsのメッセージを、まずはここから伝えられるよう参考にさせていただきます。

委員 ごみの発生抑制やリサイクルについて、啓発日を設け、意識高揚を図る大規模なイベントや働きかけなどがあってもいいのかなと感じました。また、スーパーのレジ袋の有料化は定着してきていると思いますが、ぜいたく品などは過剰包装も見受けられるので、それを断ったときの市民に対するインセンティブがあるとより過剰包装の縮小につながるのかなと思いました。しっぺいのゴミチェッカーはすごく便利だと思います。若い世代を巻き込んでいくために、アプリやチャット(AI)のシステムのなどの整備をしていくもの大事だと感じています。

事務局 5/30(ごみゼロの日)や10/30(食品ロスゼロの日)にスーパー等で啓発活動を行っています。大々的なイベントをやれるかも含めて、参考にさせていただきたいと思います。また、過剰包装のインセンティブに関しては研究をしていきたいと思っています。ゴミチェッカーは皆さんに使って欲しいと思い、ごみカレンダーにQRコードを付れたりして、利用促進を促していますが、併せて内容の充実も図っていききたいと思います。

会長 いろいろな施策をやってくれているなと思います。ごみ減量PR標語もユニークなものが集まり減量の意識が広まっているなと思います。引き続き循環型社会の推進に向けて取り組んでいただきたいと思います。それでは委員の皆様、これで任期終了となりますので、一言ずつコメントをお願いします。

委員 はじめて審議会に参加し、ごみのことについていろいろ勉強させていただきました。親子SDGs講座で子どもたちに環境教育をするのはすごくいいことだと感じました。また、ガラスや

陶器がリサイクルステーションで回収されリサイクルされていることも初めて知りました。資源回収でも実現できればいいなと思いました。ありがとうございました。

委員 軽トラ市でお店のデッドストックをバザーで売るということをしてしましたが、大変好評でした。今後もしきたらいいなと思っています。

委員 審議会に参加して初めてごみ減量の取り組みを知ることができて勉強になりました。今後とも市と協働して取り組んでいきたいと思っています。またよろしく願いいたします。

委員 今後もイベント出展などでお会いすることもあると思うので引き続きよろしく願いいたします。

委員 ごみ処理の現場を目の当たりにして一消費者として本当に必要なものか考えることができるようになりました。ありがとうございました。

委員 大変勉強になりました。いろいろな取り組みが形になっていると思います。今後ともよろしく願いいたします。

委員 磐田市の廃棄物処理の状況はレベル以上のもので評価していいと感じています。さらに充実させて今後も取り組んでいただければと思います。ありがとうございました。

委員 2年間ありがとうございました。一番大事なことはマナーだと思いました。今後も協力できる部分は協力していきたいと思っています。ありがとうございました。

委員 この2年間で勉強させていただいたことを一人の市民として周りに広めていければと思っています。ありがとうございました。

委員 2年間ありがとうございました。大変勉強になることが多くありました。周りには資源循環に取り組んでいる人とも連携を

取りながらまた有益な情報があれば提供していきたいと思えます。ありがとうございました。

会長 皆さんありがとうございました。次に（4）について事務局から説明をお願いします。

事務局 （4）その他報告事項の説明

会長 本日の議事はすべて終了いたしました。熱心なご審議ありがとうございました。委員の皆様の協力に感謝申し上げます。それでは事務局にお返しします。

事務局 2年間にわたり貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

4. 閉会